

氏名	馬場 雄三
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 3307号
学位授与の日付	平成11年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Quantitative analysis of interleukin 6(IL-6) in patient with IgA nephropathy after tonsillectomy (IgA腎症患者における扁桃摘後のインターロイキン6変動の検討)
論文審査委員	教授 榎野 博史 教授 公文 裕巳 教授 中山 睿一

### 学位論文内容の要旨

IgA腎症患者と慢性扁桃炎患者の21人について扁桃摘出術への生物学的反応を検討した。扁桃摘前後の血中および尿中IL-6活性を測定した。

血清IL-6はIgA腎症患者では3時間後にピークに達し、これは対照群よりも早かった。全経過中で両群間に有意差は見られなかった。尿中IL-6は扁桃摘前、術後6、48時間でIgA腎症群において有意に高値であった。

IgA腎症群では、扁桃への刺激により血清IL-6値の上昇と尿中IL-6値の変動が生じた。IgA腎症患者群で扁桃摘後に尿中IL-6の上昇が生じたのは腎でのIL-6産生の増加を反映していると思われた。

扁桃摘後に尿中IL-6活性を測定することは、IgA腎症患者における扁桃摘の有効性を評価するのに有効である。

### 論文審査結果の要旨

本研究は IgA 腎症患者と慢性扁桃炎患者の 21 人について扁桃摘出術への生物学的反応を検討するために、扁桃摘前後の血中および尿中 IL-6 を測定したものである。血清 IL-6 は IgA 腎症患者では対照群より早く 3 時間後にピークに達した。尿中 IL-6 は扁桃摘前、術後 6 時間、48 時間で IgA 腎症群において有意に高値であった。IgA 腎症群では、扁桃への刺激により血清 IL-6 値の上昇と尿中 IL-6 値の変動が生じ、尿中 IL-6 の上昇は腎での IL-6 産生の増加を反映していると思われた。本研究は扁桃摘後の尿中 IL-6 活性の測定の有用性を示唆するものとして価値ある業績として認める。よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。